



スリーアール

10月は3R推進月間

10月は3R推進月間です。限りある資源を有効に活用し、ごみを減らすためには、3つのRの行動が必要です。皆さんもこの機会に「もったいない」の心を持ち、3Rに取り組みましょう。

リデュース

Reduce (ごみになるものを減らす)

家庭で取り組みましょう

チェック

- マイバッグやマイ箸、マイカップを使う。
- 余分な包装は断る。
- まだ大切に使えるものは、直しながら大切に使う。

市の取り組み

■「ごみゼロ」を目指すイベントを開催 「もったいないフェア」などのイベント開催時に、次のような取り組みをお願いしています。

▽来場者は、マイバックやマイ箸の持参。

▽出展者は、リユース食器を使用し使用済みの食器は回収。

リサイクル

Recycle (資源として再生利用する)

家庭で取り組みましょう

チェック

- 資源物の分別を徹底する。
- 再生品を使う。
- 生ごみは、コンポスト容器や電動式生ごみ処理機などを使って堆肥化する。

市の取り組み

■いらなくなった油をリサイクル 廃食用油などから、ディーゼル燃料(BDF)を製造し、市のごみ収集車の燃料と



▲市役所1階に設置してある回収ボックスの例(左から小型家電回収ボックス・インクカートリッジ回収箱・食用油回収ボックス)

ます。また、民間の廃食油資源化事業者により、インクの原料にリサイクルされています。

■使わなくなった小型家電をリサイクル 使用済みの携帯電話などの小型家電を回収し、適正に資源化を行う事業者へ引き渡すことで、有用な金属であるレアメタルなどが、新たな家電製品の原材料などにリサイクルされています。

■使い終わったインクカートリッジを回収 再生カートリッジやボールペンなどに再生できます。国内プリンターメーカー5社が取り組む「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に協賛しています。

リユース

Reuse (再使用する)

家庭で取り組みましょう

チェック

- シャンプーなどは詰め替え商品を利用する。
- いらなくなった物は、人に譲るか交換する。
- リサイクルショップを活用する。

市の取り組み

■再生品の提供事業 環境学習センターでは、不用になった家具・自転車を専門スタッフが修理し、再生家具・リサイクル自転車として安価で提供しています。

食品ロスを減らすために 始めよう「もったいない残しま10」運動

食品ロスとは、食品廃棄物のうち、まだ食べられるのに破棄される食品のことです。1世帯あたり1年で約55キログラム排出されているといわれています。



▲ごみとして出された食品の山

- 宴会で残しま10。開始10分・終了10分、料理に専念して残さず食べる。
- 食材は10割使い切って、料理は10割食べ切る。
- 毎月10日は「もったいない残しま10(てん)の日」。冷蔵庫などの在庫をチェックし、食べ切り・使い切りを実践する。

◎ご利用ください環境出前講座「今日から実践 3Rでごみを減らしましょう」▽内容 ごみを出さない工夫や、分別・リサイクルなど、ごみを減らすために必要な3Rの重要性▽その他 申し込み方法など、詳しくは、ごみ減量課☎(632)2414へ。
◎この特集についての問い合わせは、ごみ減量課☎(632)2414へ。